

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名	工業用水道事業経営事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	6	産業の健康	所属部	水道局	課長名	坂本 卓博
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保	所属課	上下水道課	担当者名	大塚 麻理沙
	施策の柱	74	企業誘致の促進	所属班	水道班	(内線)	5245
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	
成果優先度評価結果		:					
コスト削減優先度評価結果		:					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>熊本県が平成8年度から造成を開始したセミコンテクノパーク(合志市及び菊陽町にまたがる区域: 当時は第2テクノパーク)内のインフラ整備として、工業用水道の建設も8年度から始まり、平成10年4月に一部給水開始、12年度に区域全体へ給水し、18年度には菊陽町が造成した原水工業団地への整備も図られている。</p> <p>平成9年度から、地方公営企業法の適用を受け、工業用水道事業会計として運営及び経理を行なう事務である。</p> <p>給水収益のほか、不足する経費については、合志市及び菊陽町の双方からの費用負担を受けて経営しており、平成9年度は、建設事業のみであったが、10年度1社、13年度3社、14年度1社(現在工業用水休止)、16年度1社、19年度1社、23年度1社、26年度1社、27年度2社にそれぞれ供給開始しており(休止: 25年度1社、平成26年度1社、廃止: 28年度1社)現在計7社に工業用水を供給している。</p> <p>※H29年度より工業用水道事業のMSシートを一本化したことに伴い各指標や総事業費等を変更した。</p>
【業務の流れ】	<p>①工業用水道料金の決定・納付書発送・測定水量の報告(菊陽町へ)</p> <p>②工業用水事業会計における測定・支払事務</p> <p>③企業職員に対する給料及び各種手当に支給に関し支給事務処理を行う</p> <p>④日次工業用水協会の、合志工業用水事業九州ブロック連絡協議会に負担金を払い、各種研修会等へ参加</p> <p>⑤会計規程及び法令に基づく、日次・月次・年次の帳簿及び財務諸表の作成</p> <p>⑥事業年度終了後、2ヵ月以内に決算を調整し、市長(財政課)へ提出</p> <p>⑦一般会計予算の編成方針・変更等を経営、工業用水道事業会計の次年度予算を作成</p> <p>⑧必要に応じて予算の補正</p>
【主な予算費目】	<p>収益的支出: 総係費、減価償却費、資産減耗費、営業外費用、特別損失、予備費</p> <p>資本的支出: 備用品費(量水器関係以外)</p>
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の料金決定、納入通知書送付及び料金収納処理</li> <li>・ 測定水量情報の提供(菊陽町へ)</li> <li>・ 測定・支払事務、日次・月次報告、財務諸表作成、会計監査の対応</li> <li>・ 予算書の作成及び予算執行状況の把握・管理、決算書の作成</li> <li>・ 各種負担金(日本工業用水協会、セミコンテクノパーク関連、消火栓設置など)の支払・請求</li> <li>・ 各種研修会等に参加</li> </ul>	前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 測定額(平成29年度より)	千円
→ イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
工業用水道使用事業所	(単位)
	→ ア: 工業用水道使用事業所数(平成29年度より)
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
① 対象の工業用水道料金が正確な料金となっている。	(単位)
② 対象より確実に料金を徴収する。	→ ア: 収納率(平成29年度より)
	→ イ: %
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠	
工業用水道事業は各事業者の生産活動に欠かせない「工業用水」を常に安定して供給し、料金を納入していただくことで成り立っている。したがって、確実に料金の徴収がなされなければ工業用水道事業の運営に支障をきたす恐れも生じてくる。現在収納率は100%を保っているが今後もこれを維持する必要があるため目標値を100%とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

	単位	27年度	28年度	29年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	千円	544	573	39,785	42,778	39,785	39,785	39,785	39,785
② 対象指標	件	544	573	7	7	7	7	7	7
③ 成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	16,153	16,138	27,789	26,923	27,024	27,789	27,789
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	16,153	16,138	27,789	26,923	27,024	27,789	27,789
	(A)のうち指定経費	千円	15,976	0	7,984	8,052	7,984	7,984	7,984
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	52	0	0	0
	人件費	人	3	4	8	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	290	710	1,000	835	1,000	1,000	1,000	
(B) 人件費計	千円	1,076	0	3,984	3,303	3,984	3,984	3,984	
トータルコスト(A)+(B)	千円	17,229	16,138	31,773	30,226	31,008	31,773	31,773	

事務事業名	工業用水道事業経営事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 収納状況は100%が続いているが、企業の経営は景気に左右されるため、収納督促等の働きかけを強化することで、目標を達成する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 100%の収納率を継続することを成果としており、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 専門的な事務であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 合志市及び菊陽町からの負担を受け、常に最少の事業費で取り組んでおり、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で、他の事務との兼務で当たっており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 区域(セミコンテクノパーク)内の立地企業すべてに受益機会があり、負担も平等であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現段階では行政の役割は適正で見直しの余地はないが、将来的に、事業の運営及び経理主体の見直しを検討する可能性はある。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

工業用水道事業の経営に係る工業用水道料金の収納率100%という目標は達成できた。但し、企業の経営は景気に左右されるため、収納督促等の働きかけを強化することで、今後もこれを継続していく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						